（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童通所多機能型事業所とういんくる　放課後等デイサービス

公表日　令和7年2月20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3		・少しペースが狭く感じます。 ・利用人数が多い日は施設室の床が足りないように感じます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・休みの職員が数名いる場合は手薄に感じるが、その場の職員同士で声をかけ合い、運営ができていると思う。	・こどもの状態によっては、足りない時もある。 →定員１５名に対し規定の職員配置をしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	7	1		・生活空間が３階にあり、災害や事故等があった際、全員がスムーズに避難することや職員（女性）の手で安全に移動させるのが困難。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・毎日、清掃や消毒を行っていることで清潔な空間が保たれていると思う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・児童会議や日常のOPでも職員同士で話し合いをしているので、PDCAサイクルができていると思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・保護者のニーズを意識して支援をしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・児童会議が職員の意見を話せる場となっており、意見を上まえて、業務改善のために話し合うことできている。 →月１回児童会議を開催し、職員間での情報共有を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	→法人内での研修や外部研修等に積極的に参加し、専門性を高める機会があります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	→法人のホームページや事業所内への掲示、保護者様へ配布をし公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	8	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「関行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・子どもたち一人一人に合った支援内容が設定されていると感じている。 →年２回家族面談を行い、保護者からのニーズと情報を共有しながら個別支援計画を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・意見をだし合いながらチームで立案できていると思う。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・様々なバリエーションを考えながら工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	・必ず打ち合わせるというかたでは、できていない日もあるが、その日のクどもの様子、状況に合わせて職員同士で声をかけ合って連携して支援ができていると思う。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2		・必ず打ち合わせができているわけではないので、自分なりの振り返りを伝えて、職員で共有できるように努めたい。 →職員間で現状の確認と行動分析をしながら支援の振り返りをしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を保護給み合わせて支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	・こどもが自己選択できるような声かけを意識して支援をしている。 →現段や活動内容等、ご本人様と話し合いをしています。	
関係機関や保護者との連携	26	保育所等訪問支援事業所のサービス提供者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・こどもの状況をよく理解している職員が参画しているので、よりよいものとなっていると感じる。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・子等予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	→学校との面談等で情報共有しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	・計画し実施することはあまりないですが、公共施設で一緒に過ごす時の交流はあります。	・交流の機会を設けることを検討してもよいと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・面談以外でも送迎の際に子どもの様子を積極的に伝えるようにしているため、共通理解をもつことができていると思う。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	→現在では保護者からのニーズがありペアレントトレーニングを実施しておりますが、放課後デイサービスでは実施しておりません。必要に応じてペアレントトレーニング等を踏まえた対応方法などのアドバイスを行います。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・担当者が丁寧に説明していると感じる。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	→送迎時や連絡ノートを活用して、家族への意思確認をしております	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・家族からの悩みや相談に親身になって応じ、具体的な案を提示することができていると思う。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	・保護者同士も交流し、お互いに悩んでいることや困っていることなどを話せる場を設けることを検討してもよいと思う。 →保護者会は設けておりません。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	→苦情等につきましては受付窓口を設置しています。また、ご不明な点や疑問点等の声が届かなましたら、迅速に対応させていただきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・分かりやすいように常に工夫しながら発信できていると思う。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		
非常時等の対応	46	感染防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	→法人クアマニュアルや各指針（虐待防止、身体拘束廃止、事故発生及び発生時対応）、法人衛生管理マニュアル等、各種マニュアルを策定しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2	・事前に確認することができている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	→服薬が必要なかやてんかん発作があるかについては、事前に家族からの情報提供を頂いております。また、てんかん発作についても過ぎの対応マニュアルを策定し、職員間で共有しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたかで支援が行われているか。	8	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・ヒヤリハットを共有した上で、再発防止策を話し合い、実行している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・研修機会があったことで、職員全体の虐待防止につながっていると思う。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0		